

平成13年度 環境功労者・功労団体

日ごろ、地域の環境美化活動に尽力している皆さんを表彰する環境衛生功労者と団体が決まりました。今年は次の6人と4団体の皆さんが選ばれ、「町を美しくする運動」の席上で表彰されました。

〈順不同・敬称略〉

◇個人表彰

●神谷鈴孝（尾崎町）

町内集会場の清掃を毎月定期的に行っています。

●杉浦静夫（尾崎町）

町内のごみ集積場の整備及び指導をし、また、収集日に指示事項を書いた看板を作成して、徹底するよう指示しています。

●田中正己（住吉町）

本人自らレンガ積みのごみステーションを自費で建設し、市道側溝の清掃、ごみの分別、町内清掃も町内会員の先頭に立って実践しています。

●大見釣也（相生町）

町内の住民に対する清掃の指導や、自ら清掃及び危険物などの処理に尽力しています。

●岡田寛昭（南町）

不法投棄された物を個人所有地へ引き取り、処理場へ搬入しています。また、指定袋以外で出されたごみや指定された日以外に出されたごみを分別保管しています。

●松川清一（和泉町）

自宅敷地の一部をゴミステーションに提供し、周辺の住民に便宜を図るとともに、ごみの分け方、出し方の指導をしています。

◇団体表彰

●横山懇和会

横山町民の美化意識の高揚に貢献し、子ども会や役員の「町内美化活動」を定期的に行っています。

●葉ボタン会

高棚小学校東側道路の清掃活動を行い、同小学校周辺の環境美化活動をしています。

●古井老人クラブ

町内の公共施設であるこども広場やちびっこ広場、古井神社、墓地などで毎月第1土曜日に清掃奉仕活動を継続して実施しています。

●榎前老人クラブ信運会

榎前農村公園全域を清掃しています。また、低木の中の除草や水辺（しょうぶなど）の手入れをしています。

平成13年度環境美化標語 最優秀賞に神谷義昭さん

「みんなの目 きれいな町の ガードマン」

環境美化に対する意識を高め、空き缶などの投げ捨て防止やごみの減量化を図るため、来年度の環境美化標語を募集したところ、1465点の応募がありました。最優秀賞には神谷義昭さんの作品が選ばれ、あわせて優秀賞5点、入選10点、佳作20点も決まりました。神谷さんの作品は来年度の「町を美しくする運動」の標語としてチラシなどに活用し、入選作品も環境美化やごみ減量化の啓発に役立てます。

◎優秀賞 〈順不同・敬称略〉

間瀬康典、角谷幸成、西川賢次、田中耕平、天野勝利

12月9日は 「障害者の日」です

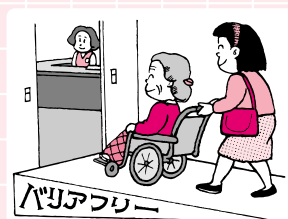
障害者の自立に基づいた社会への完全参加と平等をめざし、また、国民一人ひとりが障害者を正しく理解し、思いやりの心を育むため、12月9日が障害者の日と定められています。

地域、家庭、学校及び職場などで、障害者のことについて話し合うなど理解を深め、やさしい心、おもいやりの心を育てましょう。

また、障害者自身も自立をめざし、地域をはじめ経済、文化など、あらゆる分野の活動に積極的に参加するなど社会参加に努めましょう。

市では、障害者が社会参加しやすい環境を整えるため「人にやさしい街づくり」として、公共施設などのバリアフリー化を進める一方、自立支援のために各種の福祉サービスを行っています。

新しく始まった自立支援のためのサービス▼**情報バリアフリー化支援事業**→重度の視覚障害者・上肢障害者にパソコンの入出力支援機器、ソフトウェア（口などで入力、操作



できる装置や表示画面を音読するソフトなど。ただし、パソコン本体は対象となりません（の購入費の3分の2（10万円限度）を助成します）※所得制限あり。

そのほかの主な自立支援サービス▼**障害者デイサービス事業**→北部福祉センターでは、

身体障害1〜3級の人を対象に機能訓練や創作的活動を中心にデイサービスを行っています（昼食、リフトバスによる送迎あり）。また、総合福祉センターでは、料理・パソコンそのほかの教養講座を開催しています。昼食代430円と材料費実費は自己負担となります。▼**視覚障害者生活訓練事業**→中途失明などにより日常生活に支障のある人を対象に歩行訓練や買い物、公共交通機関の利用方法など専門の訓練士による講習がマンツーマンで受けられます（無料）問い合わせ▼障害援護課